

LINバスアナライザ機能比較

株式会社サニー技研
2012年3月8日

MicroPecker LINアナライザと従来製品（S810-LAS3）との機能比較

※赤字:機能追加

LINアナライザ機能比較		
		※赤字:追加機能、黄背景色:暫定版未実装
	S810-LAS3 (Ver. 3.12)	S810-MP-A2 《MicroPecker LINバスアナライザ》
対応LIN Revision	Rev 1.2/1.3、2.0	Rev 1.3、2.0、 2.1
対応OS	Windows2000、WindowsXP、 Windows7 (32bit)	WindowsXP、WindowsVista、 Windows7 (32bit、 64bit)
最大モニタリング（メッセージ）数	100,000	400,000
ID別上書きモード	●（別ウィンドウ表示）	●
Node別上書きモード	●	×
キャプチャ機能	●	●
フレーム識別表示機能	●（4フレーム）	●（ 64フレーム ）
タイムスタンプ切り替え機能（絶対時間/相対時間）	●	●
タイムスタンプ切り替え機能（ヘッダ時間/フレーム時間）	—	●
マスターシミュレーション	●	●
スケジュール送信	●	●
Delay設定（1ms～65535ms）	●	●
マスターシミュレーションスケジュール送信最大設定数	16テーブル×32フレーム	16テーブル×64フレーム
割込み送信	1フレーム（キートリガ）	16フレーム（キートリガ、フレーム受信）
ログ再生送信	—	●
スレーブシミュレーション	●	●
スレーブシミュレーション設定可能フレーム数	16	0x00～0x3Fの全ID（64）
エラーフレーム送信	●	●（UARTフレーミングエラー、ショートメッセージパリエーションを追加）
スケジュール変更	GUI操作	GUI操作、 キートリガ、フレーム受信
応答パターン変更	タイマ、キートリガ	タイマ、キートリガ、 フレーム受信
実行中のデータ変更	●	●
シグナルモニタ機能	●	●
モニターコード検索機能	●	●
ボーレート測定機能	●	×
ウェイトビット挿入	●	●
ロギング（CSV形式で保存）	●	●
DL 定義	●	●
チェックサム定義（Classic / Enhanced）	●	●
拡張フレーム対応	●	×
LDF 読み込み機能	シグナル	シグナル、 マスタースケジュール、スレーブレスポンスID
ステータスウィンドウ	バスステータス表示・モニタ表示総フレーム数・バス占有率表示	
Wakeup 送信	●	●
Sleep 送信	●	● Rev2.1対応
マルチチャネル対応	—	●